

株式会社ワールド 国内小売事業 月次売上概況

会社名 株式会社ワールド
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 鈴木 信輝
 (コード番号: 3612 東証プライム)
 問合せ先 副社長執行役員 中林 恵一
 (電話番号: IR室 03-6887-1300)

2022年3月期 (2021/4/1~2022/3/31)		上期							下期					通期		
		4月 Apr.	5月 May	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	3月 Mar.	2H	Full Term	
売上前年比	伸び率(%)															
国内小売売上	※1・5	261.8	143.9	77.6	87.8	72.4	76.5	98.1	85.0	94.1	92.8	95.0	75.3	109.8	92.9	95.2
店舗売上	※2・5	399.1	169.8	75.9	88.8	70.7	72.7	100.5	84.3	91.7	92.3	93.8	※6 73.8	107.0	91.5	95.3
既存店売上	※3	433.7	182.9	80.0	94.4	76.2	84.1	107.5	99.0	107.3	110.2	111.7	84.9	102.0	103.3	105.2
Eコマース売上	※4・5	99.4	94.6	86.1	83.7	79.8	96.1	89.5	89.2	106.6	94.8	99.6	※6 80.3	123.3	99.3	94.6
店舗数	店															
月末(期末)小売店舗数	※2・5	2,169	2,160	2,146	2,067	1,831	1,820	—	1,819	1,810	1,809	1,749	1,716	2,361	—	—
出店		19	2	2	1	4	9	37	8	1	0	1	1	9	20	57
退店		5	11	16	80	240	20	372	9	10	1	61	34	44	159	531
M&A		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	680	680	680
既存店対象店舗数	※3	1,930	1,930	1,925	1,852	1,610	1,592	—	1,606	1,602	1,615	1,555	※6 1,521	1,533	—	—

注) 当資料は、原則として、翌月の第3営業日を目処に開示しており、速報値を含んでおります。このため、確定値が速報値と異なる場合、翌月の速報発表時に修正してお知らせいたします。

また、通期の列においては、当期の期初から当月までの累計値を記載しております。

※1 売上数値は国内小売売上のみに限定されており、国内の卸売上や催事売上、海外売上などを含んでおりません。

※2 店舗売上及び店舗数には、直営店とVSPA(パーソナルSPA)を含んでおり、FC(フランチャイズ)や海外店を含んでおりません。

※3 既存店の定義は新規出店もしくは新規連結(グループ加入)から丸12ヶ月以上経過した店舗であり、前年同月と売場が同区画(同面積)で変動がないものとしており、対象店舗数も毎月変動いたします。

このため、改装等に伴って移設される場合や1日以上休業する場合、既存店から除外しております(ただし、緊急事態宣言に伴う臨時休業店や営業時短店は既存店の対象としております)。なお、既存店にはEコマースの売上を含んでおりません。

※4 Eコマースの売上には、当社グループのブランド各社が自社サイト及び他社サイトで計上した売上を集計しております。

※5 2022年3月より連結子会社となった㈱ナルミヤ・インターナショナル(以下「ナルミヤ」と言います)の単体売上(店舗やEコマースの小売売上)や店舗数を含んでおりますが、当社の既存店売上には2023年2月迄の12か月間を含みません。※3の定義を参照ください。

※6 2022年2月の店舗売上前年比が73.9%から73.8%へ、Eコマース売上前年比が80.4%から80.3%へ、既存店対象店舗数が1,522から1,521に修正されました。下線部をご確認ください。

【当月の概況】

休日数(前年差)

当月

+1

前年同月

△2

・当月は、国内小売売上が前年同月比109.8%となり、内訳は店舗売上が同107.0%、Eコマース売上が同123.3%でした。既存店売上は前年同月比102.0%であり、休日数が前年同月と比べて1日増で2.6%程度のプラス影響と推計しております。
 また、前々年比較では、既存店売上が121.3%(コロナ禍前の2019年3月比較で74.8%)でした。なお、ナルミヤ連結影響は、国内小売売上で+18.7%ポイントの押し上げ効果でした(既存店売上にはナルミヤ連結影響を含んでおりません)。
 ・当月は、まん延防止等重点措置の終了や気温上昇に伴う春物需要の拡大を背景に、店舗売上は2月下旬の回復傾向が一段と加速しました。セレクト需要が引き続き根強く、百貨店ブランドのパンツやシャツの売上伸張を牽引しました。
 このほか、インテイメイト「リサマリ」やジュエリー「ココシュニック」が引き続き好調だったほか、ショッピングセンター販路の「シュールー」や「オパークドッドクリップ」で春ニットも活発な動きで外出需要の広がりが支えとなりました。
 ・EC売上は前年同月比123.3%と大きく伸びました。ナルミヤ連結に伴う影響が+25%ポイントであるのに対し、終息ブランド影響は-5%ポイントであり、これらの特殊要因をネットして約20%ポイントの押し上げ効果と推計しています。
 EC販路においては、こうした特殊要因を除くと、売上が再び昨対100%超を回復しました。加えて、セール品のオフ率を適切にコントロールしており、当月も採算面の改善傾向を継続できました。

お知らせ: 2022年3月期決算発表(Tdnet及びホームページでの開示)は、2022年5月9日(月)の予定です。

【参考: 前期実績】

2021年3月期 (2020/4/1~2021/3/31)		上期							下期					通期		
		4月 Apr.	5月 May	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	3月 Mar.	2H	Full Term	
売上前年比	伸び率(%)															
国内小売売上		25.4	38.5	91.7	79.6	80.7	74.0	64.4	89.6	76.0	79.1	66.8	84.9	113.0	82.9	73.7
店舗売上		15.2	27.9	84.9	72.9	72.6	68.8	56.3	85.2	71.6	73.5	60.6	78.6	112.3	77.9	67.0
既存店売上		15.5	28.2	85.9	73.9	73.1	69.1	56.8	85.6	72.2	73.8	60.2	81.8	119.1	79.1	68.1
Eコマース売上		122.6	139.2	155.9	136.9	154.8	121.4	139.3	126.2	113.0	124.6	111.5	117.0	116.3	117.8	127.2
店舗数	店															
月末(期末)小売店舗数		2,473	2,470	2,466	2,460	2,429	2,428	—	2,436	2,443	2,444	2,210	2,147	2,155	—	—
出店		19	3	2	3	2	16	45	12	12	3	3	33	44	107	152
退店		8	6	6	9	33	17	79	4	5	2	237	96	36	380	459
M&A		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
既存店対象店舗数		2,169	2,227	2,257	2,246	2,212	2,196	—	2,234	2,259	2,236	2,041	1,923	1,936	—	—